



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年4月10日発行

第28号(通巻第348号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部



今回の事象で影響を受けた社員数は30名

支社側 教育をはじめ対策は実施済み
申し入れを行うに至った事象について、休日明示の勝手な変更や年休の時期変更を通告しなかったこと、本人承諾なしの休日出勤が発生したことを東日本ユニオンとして把握しているが、事実と相違はないか質すと支社側は、会社としても同じ認識であるとしていました。

今回の事象で影響を受けた社員数は30名
側は、不適切な休日明示の変更があった社員は30名

今回の事象について支社側の認識を質すと、休日は任意に変更しないことが大前提であり、社員の生活設計に大きく関わる内容であることから、会社として重く受け止めているとの考えを示しました。

今回の事象に対する再
◆ 今回の事象に対する再

今回の事象に対する再
◆ 今回の事象に対する再

新潟地本は3月11日、申6号・休日明示を勤務指定時に定められた取扱いにより変更されたこと等に関し、申し入れの団体交渉を行いました。

影響を受けた社員には説明をして勤務変更を行ったとして、勤務の厳正の観点から全社員への説明と再発防止策を明らかにすることが必要であることから、申し入れを行っていたものです。

今回の事象が発覚した経緯を問うと、当直副長が社員の申告を受けたことで調査した結果、通達による変更が発覚したとしました。

11月分の勤務指定において定められた取扱いにより変更していたことが明らかになったと説明されました。

程だが、その後の勤務変更で影響があった社員は80名位になると明らかになりました。

必要の対策については具体的な内容を質すと、今回の事象を受け点検と現場長会議を行い必要なチェックリスト作成したとしました。

申6号団体交渉

勤務作成初任者に対する フォロワー体制不備に課題

また、全管理者を対象にFormsによる理解度確認の実施や、人事ユニットで新入副長育成研修を行い勤務作成の勉強を行っているとしていました。

その上で、今後は新入副長育成研修だけでなく、副長の勤務取り扱い研修も考えているとしました。

教育のほかに作業上でのミスを防ぐための対策はあるのか質すと、年休数や休日の数など勤務担当者がチェックし、確認者の総括、承認者の乗務室長の三者体制ですで行っているとしていました。

繰り返される列車分離 パンタグラフスリ板欠損… 新幹線の安全運行対策を求める

幹申1号「新幹線で繰り返し発生する重大事象」に関する申し入れ

3月6日、上野〜大宮駅間を走行中の東北新幹線「はやぶさ・こまち21号」が列車分離により緊急停止する事象が発生しました。

昨年9月に古川〜仙台駅間を走行中に発生した「はやぶさ・こまち6号」の列車分離について、対策を実施したにもかかわらず同種事象を再び発生させてしまいました。

また、昨年11月8日に「はやぶさ19号」のパンタグラフのスリ板欠損が発生し、原因が特定されないうちに調査を継続していた中で、今年2月19日にも宇都宮〜那須塩原駅間で「やまびこ53号」で同種事象を発生させています。

新幹線において列車分離やパンタグラフ欠損発生により大規模な輸送障害を繰り返している

また、昨年11月8日に「はやぶさ・こまち6号」の列車分離について、対策を実施したにもかかわらず同種事象を再び発生させてしまいました。

また、昨年11月8日に「はやぶさ・こまち6号」の列車分離について、対策を実施したにもかかわらず同種事象を再び発生させてしまいました。



新潟地方本部エルダー協議会 第4回定期総会



とき: 2025年5月25日(日)
14時00分より
ところ: 万代市民会館

- 1. 2024年9月19日、東北新幹線、古川〜仙台駅間を走行中に発生した「はやぶさ・こまち6号」の列車分離における原因と対策について明らかにすること。
- 2. 2025年3月6日、東北新幹線、上野〜大宮駅間を走行中に発生した「はやぶさ・こまち21号」の列車分離について、原因と対策を明らかにすること。
- 3. 走行中に新幹線が列車分離した場合、滑走などによる追突などの危険性は無いのか明らかにすること。
- 4. 2024年11月8日、東北新幹線、大宮〜ノ関駅間で発生した「はやぶさ19号」のパンタグラフスリ板欠損について、原因と対策を明らかにすること。
- 5. 2025年2月19日、東北新幹線、宇都宮〜那須塩原駅間で発生した「やまびこ53号」のパンタグラフスリ板欠損について、原因と対策を早急に実施すること。